

千葉大学 アカデミックリンクセミナー第2回
2011年7月27日(水)

デジタルコースパック・プロジェクト ー 授業資料電子化の試み

白川 優治
(千葉大学アカデミック・リンク・センター)

大学教育と大学教育改革の方向性

大学教育の多様性

「大学教育」といっても

- ・専門分野
- ・授業内容
- ・授業方法

など

大学教育は個々の授業・授業担当者によって多様

近年の大学教育改革の方向性

- ①大学教育の充実＝単位の実質化(授業時間外学習)
- ②学習成果の可視化

Learning Management System (LMS) の活用

千葉大学では、2009年度よりLMSとして“Moodle”を利用
<https://www.consortium.ge.chiba-u.jp/moodle11/>

利用状況

- ・276コース(授業)

- ・5,500人(含教員)

2011年7月現在

Cf.) 千葉大学 学部学生数
10,765人



現在の著作権制度と大学教育

著作権制度の原則:

- 著作物の利用・複製頒布には著作権者の許諾が必要

学校その他の教育機関における複製等の例外:

- 一定の条件のもとで、著作権者の許諾を得ることなく複製利用することが可能

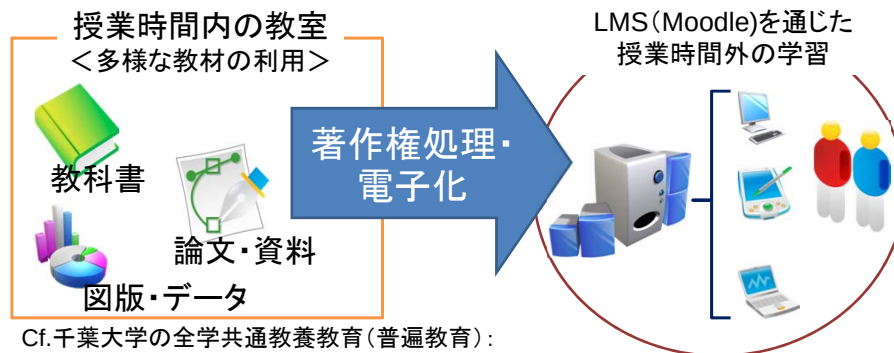
授業時間外学習(予習・復習)
e-learning の扱い

デジタルコースパック構築プロジェクト

Digitally Packaged Course Project

コンテンツの電子化を通じた学習環境の整備

授業時間外学習の充実のために、授業教材の権利処理



Cf. 千葉大学の全学共通教養教育(普遍教育):
教科書指定率: 36.35% (466/1282科目)

著作権法上の制約に、正當に「権利処理」することで対応
個々の教員の個人的努力から組織としての取組へ

2011年度

アカデミック・リンク・センターの実験的試行

自然科学分野の 授業での試行

- 反復が必要な基礎的内容の**練習問題集をLMS**により提示
- 解説や概説の動画配信

人文社会科学分野 の授業での試行

- **講義形式の授業**: 配布資料のLMSによる提示
- **演習形式の授業**: 論文・文献の一部資料をLMSによる提示